

逆に言えば3年間は他の国に住めるということで、カナダと日本、あるいは他の国を自由に行き来することが可能です。

先が見えないこの時代、いくつかの選択肢があることは安心です。

カナダが永住権が取得しやすいのは、日本の30倍近い広大な国土に4,000万人足らずの人口しか持たず労働力を移民に頼るしかないからです。永住権申請の方法はいくつかありますが、私たちは、妻がカレッジの学生になってまず私のワークパーミットを申請し、私が働きながらユーコン準州の推薦を受けて家族全員の永住権申請をするという道を選びました。



この推薦制度に通れば、働き始めてから2年~3年でほとんどの人が永住権が取得できるからです。

(最近では、1年~1年半ぐらいで取得できる人もいます。プロセスが早まっている模様)。

日本での仕事の引継ぎや日本の家族とのやりとりで妻と娘より一年遅れてカナダ

に移った私は、まず仕事探しを始めます。この推薦制度の該当職種はおにホテルやレストランなどでの仕事なのですが、ちょうど冬の閑散期(ユーコンは観光が主要産業であり夏がかま入れ時)に差し掛かっていたため職探しは難航し、履歴書を20以上のホテルやお店に配りまくった結果、あるホテルのハウスキーパーに決まったのは毎が明けて4月のことでした。厳冬期の職探しは厳しいものでした。(後編へつづく)



求め、行動するところに道は拓かれる
き、と私の人住も・・・
夕カシさんがあなたを応援してくれる後編も
お楽しみに♪

